

北海道浮魚ニュース

平成10(1997)年度7号(通巻No. 28)

1998年7月22日

北海道立中央水産試験場	Tel: 0135-23-8707	Fax: 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel: 0154-23-6221	Fax: 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel: 0138-57-5998	Fax: 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel: 0162-23-2126	Fax: 0162-23-2134
網走水産試験場	Tel: 0152-43-4591	Fax: 0152-43-4593

太平洋のサバ・イワシ・イカに関する漁況予報

7月15～16日に、中央水産研究所(横浜市)において、平成10年度第1回太平洋北部イワシ・サバ類長期漁況海況予報会議ならびに太平洋イカ長期漁況予報会議が開催され、漁況予報が発表されました。

サバ・イワシについて、北海道に関連する部分の概費は次のとおりです。

マサバ(予測期間:平成10年7～11月、予測海域:三陸～常磐海域)

- ・来遊量は2歳魚が前年を上回り、0歳魚および1歳魚以上は前年を下回る。3歳魚以上は前年並みの低水準となる。全体の来遊量は前年を下回る。
- ・8～9月に三陸北部海域を中心に断続的に、10月以降は三陸南部～常磐海域で散発的に漁場が形成される。

マイワシ(予測期間:平成10年7～11月、予測海域:三陸～房総海域)

- ・来遊量は前年を下回る。
- ・三陸では散発的な漁場形成となる。

カタクチイワシ(予測期間:平成10年7～11月、予測海域:三陸～房総海域)

- ・来遊量は前年を上回る。
- ・三陸～常磐海域では引き続き8月まで漁獲され、11月以降まき網漁場が形成される。

スルメイカについては次のとおりです。

太平洋スルメイカ漁況予報文

本邦北部太平洋海域（常磐以北太平洋）の漁況予測

予測期間：1998年7～9月

予測漁業：主に釣り漁業

各漁場への来遊量※：

常磐・三陸海域では、1997年を大きく下回る。

道南・大畑海域では、1997年を下回る。

道東海域では、1997年並みかそれをやや上回る。

漁体：8月の外套長は、20cm前後が主体。1994～1997年の平均的大きさより1～2cm小さい。

※本年からスルメイカがTAC対象種に加わり、水産庁の方針で予報文中からは、漁獲量予測がなくなりました。

予測の根拠

- ・6月上旬～7月上旬に行った漁場一斉調査の結果は、1997年を大きく下回った。
- ・7月10日時点での、常磐以北各地の水揚げ量は、1997年を大きく下回った。
- ・1997年に比べ、道東沿岸への北上暖水の波及が強いと予測される。
- ・一斉調査で漁獲されたスルメイカは1994～1997年より1～2cm以上小さい。

釧路・函館水試は、7～9月漁期の漁獲量を以下の様に考えています。北海道太平洋沿岸の漁獲量は、予測来遊量に従い、道南（渡島～日高）では前年を下回り、道東（十勝～根室）では前年並みかそれを上回る。

スルメイカ経年漁獲量（7～9月）

【釣り・定置・底びき、生鮮、トン】

年	大畑・道南	道東・羅臼	合計
1990	3,606	2,963	6,569
1991	8,201	16,631	24,832
1992	20,932	9,858	30,790
1993	20,196	2,612	22,808
1994	20,348	5,064	25,412
1995	14,941	3,463	18,404
1996	30,662	11,441	42,103
1997	29,081	4,031	33,112

◎ 10～12月漁期の予報は9月22日に発表されます。

（文責：釧路水試資源管理部）